

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特異語)	(/)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0716.46	メカイ <下>	オンナ
0724.95	mekkai (子供を咬傷した)	onna
0747.70	mekkæ: <多> <30才以上の人が> onna <少>	
0776.88	mekkje <早口なとき>	mekkai
0779.03	mero <早> <子供に3回咬傷された時>	onna
0789.95	<年長の早口なonagoを>	onna
0840.33	mekkai <古> <早>	onna
0990.99	onna <越中の人 me'ro'>	
1699.14	メカイ 後者対語	オナゴ
1706.82	メカイ <産>	オンナ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 ページ
	137, 138	
項目名		(B) 除いた共通語
女 081		(C) 除いた特殊語 (2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1715.53	<メカイ> (家内のこと) (+女性) 蔑称	onna
1719.38	F メロ	オンナ
1727.75	アマ <卑>	オンナ
1743.20	メケ メロ 共に卑称	オンナ
1744.60	メカイ <昔はよく使った。今は馬鹿にする時もある>	オナコ*
1745.54	メカイ <下>	オナコ
1747.04	オンナ <多> オナコ <少> 語。同く「おとし使ひ」。	
1747.55	mero <卑> メロウ <卑>	onna
1754.16	メカイ <卑>	オンナ
1756.32	メカイ <下>	オンナ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137.138	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(3)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1757.61	メロウ <卑>	オシナ
1770.18	メケ <卑>	オナゴ
1781.95	メケ <卑>	同上
1786.13	メカイ <卑>	オンナ
1791.33	メケ <下卑に感いぞいずめり>	オンナ オナゴ
1793.14	メケエ <下>	オンナ
1798.13	メロウ <卑> mekkai <女><卑> kai → ke せう.) 今でも使用。	onna
1848.24	me'ro <卑>	on'na'

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号 138 137	A 普通注記	ページ
項目名 女 081		[B 除いた共通語]	(4)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1859.84	<卑> mekkae <大いじも 子供にじも。最近 いかな。子供は me'kkae wāra'si といた。>	on'na'
1863.48	オナ <妻口214 XD>	
1867.15	下 XD	オナ
1942.03	onago <子供に3便りかたわら>	on'na
2617.68	オナケ <オナ>	オナコ°
2619.28	下オナケ 女自身は使わぬ	オナコ°
2649.79	オナケ <馬鹿にして吐>	オナコ°
2699.89	卑 amā	onago°
2700.48	オナコ° <オナケは東北奥身着が多<便>>	オナコ°

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(5)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2703.18	mekkai 〈稀〉(鼻)	onna
2712.33	(下) ムヶ	オナゴ
2713.83	〈*〉 ムヶ 〈下〉	同上
2731.97	ムヶ 〈若〉	同上
2732.39	オナゴ 俚称	ムヶ
2734.05	ムヶ 〈夏3時〉	オナゴ
2741.46	オナゴ 〈ムヶは堺町 木古内でのい〉	
2750.43	オナゴ 〈ムヶは使わない 婆は使〉	
2750.44	ムヶ 〈夏口3時 使〉	オナゴ
2751.10	ムヶ 〈古〉 今に強ど使わぬ	オナゴ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137,138	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(6)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2753.44	卑称 女 bikki	onayō
2754.56	卑称 āma bikki	同上
2761.44	<卑称 mettakusarē>	同上
2762.61	卑称 mekekusarē	同上
2763.22	卑称 onayobikki	同上
2763.28	<古> onayō 卑称 bikkijarō	onnā
2765.02	onayō <卑称 on>	
2765.71	<卑> kusareonayō	onayō
2771.22	卑称 mettakusarē	同上
2771.64	<卑称 metā>	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名		(B 除いた共通語)	
女 081		(C 除いた特殊語)	(7)

地点番号	A. 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 或した語形とその注)
2771.83	卑称 mēta	onayō
2772.05	onayō 卑称 _{たし}	同上
2773.13	<卑> mikē bidāri	同上
2781.91	<卑> mettakusarē	同上
2782.16	onna (?) 卑称 _{たし}	同上
2783.06	卑称 mekkē	同上
2784.63	<卑> mekkē	同上
2785.31	onayō 卑称 _{たし}	
2791.80	同上	
2792.40	onna (onayō 同義 町誌共通語に記す)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137, 138	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(5)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2795.66	midakūnasī <♀>	onayō
2800.52	マカシ <下> (女を軽蔑に)	オカシ
2811.01	マカシ <古>	
2812.96	dosu mekke <マカシ女> (♀)	mekkē
3619.58	(♀) onāyokūsare kūsare	onāyo
3639.49	(♀) jaro bagajaro	onayo
3649.16	(♀) 男と同じ jakko, hoido, jaro, bagajaro 同上	
3649.58	(♀) dzabe kūsare	onāyo
3649.64	(♀) jaro	onayo
3688.82	aba <男は toto>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137, 138	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(7)
女 681			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3689.38	(鼻) dzabe	onāyo
3689.75	d. 同上	onago
3699.25	gabe (女子供の呼称)	onayo
3700.19	onayō <鼻称は持たない>	
3701.49	同上	
3705.42	onayō <舌> <鼻称なし>	
3706.91	鼻称 bita	onayō
3710.91	(鼻) bagajaro	onāyo
3711.92	(鼻) 特称なし	同上
3711.98	同上	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138		
項目名		(B 除いた共通語)	
女 684		(C 除いた特殊語)	(10)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3712.74	(卑) bagajaro	onãyo
3712.89	(卑) jaro tjikkifo 男にも	onayo
3713.75	(卑) mekka bikki	onãyo
3714.27	卑 bitta kusobitta	onayo
3716.58	卑 onayobitta, kusarebitta	同上
3720.58	(卑) jaro tsikifo	onãyo
3720.71	(卑) bagajaro idzarekesi	onayo
3721.30	(卑) jaro	onãyo
3721.37	(卑) jaro tjikifo (男女共通)	onayo

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名	138	[B 除いた共通語]	
女		[C 除いた特殊語]	(/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3721.71	(卑) bagajaro	onajo
3722.90	(卑) 特殊はな	onājo
3722.97	(卑) jaro	onajo
3730.39	(卑) bagake	onājo
3730.43	(卑) jaro tsikiŋo	onajo
3731.46	(卑) jaro tsikiŋo	onājo
3731.61	(卑) bagajaro	onajo
3732.26	(卑) 同上 但し余り便方ゆゑ	onājo
3732.73	(卑) bagake	同上
3733.18	(卑) bagajaro 男女共通	onajo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名	138	(B 除いた共通語)	
女	081	(C 除いた特殊語)	(12)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3733.73	(卑) jaro	onāyo
3740.29	(卑) tal	onāyo
3740.33	ama (卑)	onago
3740.82	baga (卑)	onāyo
3741.57	(卑) jaro	onayo
3742.82	同上	onāyo
3746.09	話 bit'ta (卑)	onayo
3750.28	(卑) jaro (カ)	onāyo
3750.43	(卑) metjakūtjare	同上
3750.75	(卑) jaro	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での特記は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B) 除いた共通語	
項目名	138	(C) 除いた特殊語	(13)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3751.81 (♀)	jaro <女に對しては> baga	onāyo
3752.47 (♀)	baga bagajaro	同上
3752.89 (♀)	odafūgū kamado kəsi ... 必死に女に對する辱稱 のみは いえ物下に思われぬ 初子と云。	onayo
3753.88	オンナ <女 改子>	オナコ
3754.13	ヒメ (♀)	同上
3757.59	オナコ <古>	オンナ
3760.33 (♀)	jaro bagajaro	onāyo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 051	(C 除いた特殊語)	(14)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3760.58	jaro (♀)	onajo
3761.22	(♀) bagajaro	同上
3761.74	(♀) jaro tsikkijo	onajo
3762.42	onajo 獣や鳥にふくむ 木ヅ、木ヅに便 の一般。	
3762.71	(♀) べし	onajo
3762.85	(♀) bitta agabitta	同上
3764.92	? オゴ	
3770.49	(♀) küsare kü sarekesi -- küsareのひい由。	onajo 同上

念を押したか女にオゴはひい
便り由。

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(15)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3770.96	(卑) dzabe	onãyo
3771.29	[卑] jaro bagake bagajaro	同上
3771.44	(卑) bagajaro	同上
3771.97	(卑) odafüigüi	同上
3772.32	(卑) jaro	同上
3772.73	(卑) sutemekæ (男・女)	同上
3781.21	(卑) jaro	同上
3781.49	(卑) jaro gagü (卑) は 080 に同じ	onayo
3782.12	(卑) tsiküifo hodo	onãyo
3782.38	(卑) bagajaro hodo	onayo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	(16)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
37 82.71	(♀) jaro holdo	onãyo
37 82.98	(♀) 不明	同上
37 84.24	オ+ゴ° (少 ♀)	オ+ト
37 90.27	(♀) dzabe	onãyo
37 91.76	(♀) jaro (少) 女にも使:-とあり	onayo
37 92.76	(♀) bidagiure	onãyo
37 96.95	ビ+ア <粗>	オ+ゴ°
45 89.83	njo:bo <古>	onna
45 97.66	ニヨオホ <「娘」ニヨオホノコ>	×0
45 97.72	mero <FB>	njo:bo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	(17)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
45 98.59	njo:bo <石>	onna
46 19.23	ba'tsi <鼻>	o'na'yo
46 37.68	onayo (石<現在も用いる>)	
46 39.69	hena (鼻科)	onago
46 43.47	nefo: <nefo: 03音. 鼻科ではtin-> <科. onago は女中 46と似て 鼻科女, 便所科女 を意味する。>	onna
46 44.10	ne'fo': <少tin->	o'nna
46 47.69	onayo 「外におはれんか」の同様に科科を返す。 <石(03)の音で、今では多く用いる。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (18)
	137 138		
項目名			
女 001			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
4648.59	onayo <弁> <古<以>用い、現代も使われ稀な形>	
4652.79	onnano mon <古-現> onago <古-現> (これと最もよく用い、次いで onago をよく用い onna は共通語的場面において用いる。)	
4653.02	menare <悪罵のことば>	ne'jo:
4653.47	onago <如子に ne'jo: no ko という。 「おんなた」とはである。> (女性を 単に ne'jo: とはよわない。)	
4653.84	o'na'yo <古>	o'nna
4654.52	[ne'jo:] <古> ... (調査終了後の雑談中にこの語が用いられる 被調査者の息子(名員)と局長の話し より、被調査者と若衆の会話から。 息子と局長は現在も使われるとあるとされた。)	o'nago

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
	137	
日名	138	(B 除いた共通語)
女 081		(C 除いた特殊語) (19)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4659.50	かた (卑) かたは年令に因しない	オナゴ
4663.06	onago ~ onago [g~j~g~j] の発音がある。 nejo: ... サヤ [卑]。 onna ... 若い(若い)。	
4666.17	onago (「外にありせんか」の向に對する反応) <古い言い方は今も onna より多く用いる> <onago no ko などとも用いる>	
4666.42 (胡查抜)	[onago] 後藤 藤吉	
4672.19	onna no moV <家庭内() 多く用いる> onago (「外の言い方はありせんか」に對する答へ) <相対多く用いる。部落内に被調査者が用いる> <若く人は nejo: no moV と書いた様である>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名	138	(B 除いた共通語)	
女 081		(C 除いた特殊語)	(20)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4675.45	onago (E-現) 「外に言い方はありませんか」に特別終止 (これは古くは用い、今は onna より 多く用いるとある。)	
4675.62	onago (音の用い) } bate (下) } (尊称である。) ama (下) }	
4676.60	onago (古) (下) (女は下行の威いがある。これは onna より多く、また onna より onago といは、いかなる場合も。) (onago u fi という形は onna u fi という方が多く用い る。)(220)	
4685.10	onago (これは多く用い) } }	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	137 138	
項目名		B 除いた共通語
女 081		C 除いた特殊語 (2/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
46 85.72	ama (下) (けんかっし の時 使う)	onna
46 85.88	onago onnago } [古] 女を意味する上品な語	同上
46 86.96	onago domo } onna so: } (複数をおろわす) < 公的場面で使う >	同上
46 87.37	onagofu: < これも多く用いる >	onago onna
46 89.62	onago < onayko, bidε: などとは卑辞 >	
46 89.86	! bidε < 悪口 >	onna
46 94.81	アマ (下)	オンナ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中でどの語群は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	137	
項目名		B 除いた共通語
女 081		C 除いた特殊語 (22)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4695.21	bate <F> 女性をのこし時に用いることば。	onna
4695.87	onna (onnago IF 婦人)	
4699.07	onayo (<お嬢さん<の 尊称はなと答へる>)	
4702.10	onāyo (尊称 答へる)	
4703.18	onayo onapasii <古> } <両方は男 (odogo) に対する>	
4705.53	オナヨ (少尊)	
4706.53	onayo <尊少は bite: >	
4711.41	[onayo]	
4711.42	pena <悪いことば。在りは音段に便る>	onayo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	137 138	
項目名		(B 除いた共通語)
女 081		(C 除いた特殊語) (23)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4711.49	ナ (鼻)	ナゴ
4713.02	onayo [?] (誘導に おと 得た 答え)	onna
4716.20	<子供の場合は onako であり、これは女の鼻称としても使われる。> onagonosito<英>(上)	
4721.36	[onayo]	
4723.14	bide: [鼻]	onayo
4723.51	ビテゴ (女に対する鼻称 2通り)	ナゴ
4725.01	ナゴ <鼻、ナノス>	
4731.42	[onayo]	
4731.85	同上	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(24)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4735.37	onna < 卑称としては bide: かある。この地域 いふよりいふなりつりて呼ぶものなり >	
4735.42	卑 セテエ	オナゴ
4741.44	ハナ (卑. 又は 子供に対して)	オナゴ
4742.43	onago < 俗 >	onna
4743.44	onna < 卑称としては bide: かある >	
4746.20	onago < 古 >	onna
4750.32	ハナ (卑 又は 子供に対して。)	
4753.76	onago < 古 >	onna
4760.64	[onago]	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	[B 除いた共通語]	
項目名	138	[C 除いた特殊語]	(25)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4761.57	mero・ <卑称>	onna
4761.93	onna <卑称 → 若い女に対し カキ 年寄りの女に対し ババ を使う>	
4762.04	オナゴ 卑 <口行江 ナゴ>	
4762.90	onayo (卑称・若い女をカキ 老女を ババと呼ぶ)	
4763.11	bikcci [卑]	onayo
4771.58	onna onayo <両方同じ>	
4771.92	onayo <あつ>	onna
4771.98	onayo <若い女に対する卑称 mero・ 年寄りの女に対する卑称 baba>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	[B 除いた共通語]	
項目名	138	[C 除いた特殊語]	(26)
女 681			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4772.33	mero: <おじいさん>	onna
4773.15	onago <娘>	同上
4773.70	onna 尊称 かし(幼少女) / おい(老女)	
4780.26	onna (尊称 → gaki 若い子 baba 老人 使)	
4780.60	onna <尊称 → okame 日下に対(20). baba 年寄りに対(20)>	
4781.48	mero: <おじいさん使>	onna
4783.38	onna 尊称 かし(小少女) おい(若い女) / おい(老女)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(17)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
4784.41	mero <卑称>	onayo
4790.30	onna 卑称 bita' 40才者に対して baba 老女に対して。	
4791.12	onayo 卑称 mero: 若い方 baba 年との方 30才が大体、境界 線	
4791.65	mero: (卑称)	onna
4792.43	bakamero: <卑>	onayo
5472.34	三ツ子心 <古>	オナ
5499.98	メナ (卑)	メナは 20才 卑下した時におか

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(28)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5507.09	mero <下>	njo:bo
5507.20	mero <右>	onna
5508.16	mero <右>	njo:bo
5508.43	mero <下>	同上
5516.19	xo <下>	↑↑°
5517.24	mero <下>	onna
5517.78	xo <右>	↑↑° 不↑
5518.20	dosu mero <下>	onna onayo
5518.71	mero <下>	onna
5529.15	mero <下>	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	[B 除いた共通語]	
項目名	女	[C 除いた特殊語]	(29)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5528.31	mero <下>	onna
5538.63	dosimero <♀>	mero
5546.34	mero <下品>	onayo
5558.09	mero <下>	同上
5564.77	mero onayo on:a menoが優先。Aの二形はEに次いで同等の使用。	
5565.12	メエロ <下>	オナ
5565.55	mero <下>	
5567.46	<♀> エラフケ } <エラフケ下りメロの方の一層 卑語> <♀> メロ	オナ [○] ニョオホ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(30)
女 681			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5568.22	ニヨワホシヅク (女性群・軍)	オンナ
5568.92	ニヨウホオ <総称>	
5569.02	ニヨウホ (総称)	
5569.99	njo:bo: <全語形に共通。新語のこと。> (たろなう語ではなうい)	:onna
5574.84	me:ro 若い時に使ったの。こたはあやう使わぬ。	onna
5575.93	mero M過剰の女 otokomero	
5579.42	njo:bo <古>	
5579.79	ニヨホシヅク (女性団意)	オンナ
5584.22	me:ro 和軽の言い方。	onna

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(31)
女 681			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
5584.37	domentfa } 喧嘩の時の叫び声、 me:ro } 喧嘩の時の叫び声、 稀。	onna
5586.56	onna 優先	onayo
5586.70	mero 若い者はよく使われる	onna
5588.02	<卑> 女 <卑> の呼称 < 女の呼称 > = 女木 ... < 女性の総称(呼称) >	
5591.91	木(総称)	
5594.02	onna -- 優位。今の若い人はよく使われる。	onna
5594.37	onna me:ro onna onayo -- 優位。292冊と同様に使われる。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並ぶ。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	(32)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5595.20	mero やや軽んじられた使用。	onna
5602.99	onnadomo <下><上品なことはでない> onnayo (トコシエに対する語)	onna
5605.11	ama <下><悪口や用いた上品なことは>	onna
5608.16	onayo (かまは年若い女性に対する尊称語と)	
5608.51	onna <onayo は使わない>	
5609.26	go ³ fi <女の悪口>	onna onayo
5611.39	ama <下>	onna
5611.74	! ㊦ (下) <悪口を言う時にも使う>	オンナ
5611.81	onayo (初め [onna] と答えたが、被調査者の自然な語の中の [onayo] がより果敢にそれを採った。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	137	
項目名	138	[B 除いた共通語]
女 081		[C 除いた特異語] (33)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5612.39	アマ (下 希)	オンナ
5612.98	onna onago とは 区別なし。	
5615.78	onnafo: (複数)	onna
5617.28	onna < ama は若い女に, baba は老女に 呼称である >	
5617.85	onna < merappafi は 区別なし >	
5620.16	mero < 下 >	onna
5620.30	onago < 古 >	mero
5620.80	njo:bo < エル階級の人 > mero < F.階級の人 >	
5623.27	a'ma < 母・下 >	onna

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
	137	ハニ
項目名	138	(B 除いた共通語)
女	081	(C 除いた特殊語) (34)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 或した語形とその注)
5623.85	amako (♀)	onna
5625.32	ア (下) (97(3)用い3)	オンナ
5628.23	onano <E>	onna
5632.28	ama <♀>	同上
5633.45	ama (♀)	同上
5635.48	ア <♀>	オンナ
5636.49	アマ <下>	オンナ オンナレ
5636.74	アマ <♀>	オンナ
5644.74	xs <♀>	オンナ
5646.71	アマ <下>	オンナ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(35)
女 68			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5657.73	ア<下>	オンナ
5665.46	アマ→アマ<アマテ>	オンナ オンナレ
5666.18	スヘタ<下>	オンナ
5667.77	amakko [♀]	onna
5669.19	ama (恵口)	同上
5669.96	ama <♀>	同上
5676.28	amattfo } (♀) me:ta }	同上
5676.84	メス <はかに用いた名> <新> アマツチ <年令に別添なし>	オンナ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	(36)
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5677.28	スㇿㇿ <卑>	オンナ
5678.33	アㇿ <卑>	オンナ
5678.59	a ^h ma <古>	o ^h nna
5679.31	ama <卑>	onna
5683.61	アㇿ <卑 稀>	オンナ オンナ ^h
5686.15	a ^h ma <悪口>	o ^h nna
5686.31	onna ((アㇿ ^h ㇿ ^h ㇿ ^h <卑>))	
5687.59	# a ^h ma <卑>	o ^h nna
5689.43	ama <卑>	
5689.98	onna (卑 稀 [a ^h ma:])	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に基づく。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名	138	[B 除いた共通語]	
女	081	[C 除いた特殊語]	(37)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5693.78	ヒク ^ナ ト ^ナ <古><下> ヒク<下>	オンナ
5694.79	ヒク<下>	オンナ オンナシ
5696.13	オンナ (F)(古) アマ ^ナ ト ^ナ	
5696.68	ama<卑称>	onna
5697.24	(下) アマ	オンナ
5698.19	ama<卑称>	onna
5698.30	a ⁷ ma (卑)	o ⁷ onna ⁷
5699.25	a ⁷ ma<卑>	o ⁷ onna ⁷
5699.42	ama<卑称>	onna
5700.96	onna<変用> onago	

<卑称> 10才小中学生くらい
 アマ 小中学生の頃の呼び方。
 ババ 40才以上くらいの時。

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(38)
女	001		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5701.73	mero: (卑称)	onna
5703.03	onayo (卑称 → 30才以下に対して mero'を、 それより年長に対しては baba E 使う。)	
5703.19	onayo 卑称 ama 若い者 baba 老人	
5710.29	onna 〈卑称 → ama 若い女性〉	
5711.18	onna 卑称 → ama 若い女性 baba 老人	
5711.85	onayo 〈F〉	onna
5712.70	onna [onna onayo 〈F〉]	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名	138	[B 除いた共通語]	
女	081	[C 除いた特殊語]	(39)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5712.88	ama <F>	onna
5713.65	onna 尊称 ama	
5714.10	ama <下>	onna
5721.26	onna <尊称 → 若い女の場合 アマ 老女の場合 ババ >	
5721.27	onna 尊称 → 若い女 ama 老人 baba	
5721.77	onna 尊称 → gakime 若い女にいい。 baba 年輩の女にいい。	
5723.02	onna <尊称 かき 幼少の女に アマ 目下の若い女に ババ 老女に 言う >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	[B 除いた共通語]	
項目名	138	[C 除いた特殊語]	(40)
女 681			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5723.60	onajo < 荘アニは >	onna
5731.13	(鼻) ama	onna
5733.02	onajo [古]	同上
5741.25	ama < F > amame < F >	同上
5742.65	(鼻) ama	同上
5751.89	ama < 鼻 >	同上
5760.24	a ^h ma < 夏口 >	onna
5760.57	ama < 鼻 >	onna
5761.91	ama < 鼻 >	onna
5770.11	同 上	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は縦書きにする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 001	(C 除いた特殊語)	(81)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5770.46	ama <卑>	onna
5772.00	同上	同上
5780.57	同上	同上
5781.22	ama 必ずしも卑称ではない。 "今交 35へ ama の生母で..." というふうにも使う。	同上
5781.65	a ^r ma <悪い意味。謙遜に使う>	o ^r ma
5782.32	ama <卑称>	onna
5782.79	ama <卑・下>	同上
5782.94	a ^r ma <ケナカと3>	o ^r ma

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	[B 除いた共通語]	
項目名	138	[C 除いた特殊語]	(42)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5790.64	amakko <卑称>	onna
5791.07	同上 <親称>	同上
5791.23	āma <卑称>	onnā
5792.02	! a ⁷ ma <軽蔑の意なし>	
5792.62	amakko <古・卑>	onna
5793.20	a ⁷ ma <正腹(なとき)>	onna
5793.74	amakko <卑称>	onna
6267.16	オコ ⁷ <女の卑称(オコメ)>	
6267.68	menata ⁷ ro <下>	onna ⁷ go
6267.84	me ⁷ na <下>	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に変わる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(43)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6287.71	onago < 君時代は kimijajo である >	
6348.71	お? <下>	オナゴ
6349.09	onago < 下品 又は普通 > onna (一般に、やや上品とされている)	
6349.67	ニヨオホ <古>	オンナ
6354.46	onagobo:zu < 卑称 >	onago
6359.38	フジン 雅	オナゴ ニヨオホ
6366.24	onago (卑称なし)	
6368.60	onago < 水高巻のた >	onna
6373.59	onago (卑称なし)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(94)
	女 on.		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6374.68	obi: 〈下〉〈鼻下しなまゝ方〉	onago
6375.08	onago 〈下〉	onna
6375.40	onago (鼻下しなまゝ)	
6376.33	mentsu: 〈下〉〈鼻下しなまゝ方。女のりひは、た まなごに使う。〉	onago
6376.68	onago (鼻下しなまゝ)	
6377.65	ニヲホ 〈古〉	オナゴ
6383.77	o'nago 〈昔〉	o'nna
6384.25	onago 〈古〉	onna
6384.73	mero: 〈鼻下〉	onago

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	137 138	
項目名		(B 除いた共通語)
女 081		(C 除いた特殊語) (45)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6385.63	onago (卑称なし)	
6387.62	mero: (卑称)	onago
6388.49	onago (卑称別なし)	
6394.09	オナゴ (卑称のみなし)	
6395.46	オナゴ <女の悪口を言う場合. ハナオナゴといふ>	
6396.62	オナゴ <下>	オナゴ
6403.62	onago <上>	njoba
6405.95	onago <多く言う>	onna
6408.72	誘 onago <古> a'mame <卑称>	o'nna
6409.72	オナゴ <古>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(28)
女	001		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
64 10.45	オナゴ 〈古〉	オンナ
64 10.77	ニオナハ 〈古〉	
64 11.33	同上	オナゴ
64 11.66	同上 〈オナゴは古く下女のこと〉	
64 12.91	onago 〈未婚?〉 〈古〉	onna
64 13.29	誘 njo:ba 〈古〉	ona'go
64 14.17	onago 〈下〉 〈穢〉 (onago は 衛... 相手に 下品と思われろで あり用いな このこと。)	onna
64 15.78	njo:ba 〈多〈童〉〉	onna
64 15.80	onago 〈多〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 128	(B 除いた共通語)	
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	(47)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6415.80	onago <多>	
6415.83	njo:ba <共同作業などでニョーハに手伝って貰う などと言ふ。>	
6416.31	onago <古>	
6419.25	スナガ <下>	オナゴ
6419.50	ヒクニ <下> <ヒクニは鼻下の異称である。女の子か 生まれた時に ヒクニチス などと用いる。>	オナゴ
6420.60	ニョオハ <古>	オナゴ
6421.26	Xン <下>	ニョオハ オナゴ
6421.82	no:ba [no:bo]	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は敬語にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	(48)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6423.75	njo:bo: 〈F<用い。 伊=オ-ホ-と言)時好 美しい 女を言う。〉	onna
6424.20	njo:ba 〈軽いと言い方〉	onna
6424.89	njo:bo 湯原町種 ^{湯原町種} ku'soba'ba: (単位)	
6424.92	ニヨオホオ 〈希〉	ナコ"
6425.57	ナコ" 〈古〉	ナト
6426.47	he'n'nago 〈悪口〉〈愛嬌女の意〉	o'nago
6426.83	ナト 〈音〉 =ニヨオホオ 〈古〉	
6427.27	onago onna (単単の区別はない。どれも同じ Fに用い。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ そのうちの括弧は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名	138	[B 除いた共通語]	(49)
女	081	[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
64 27.40	onago onna オナゴオナメ 上下はない (別に尊称はない。)	
64 27.93	onago 〈多〉	onna
64 28.91	オナゴ コは y と g の同	
64 29.15	オナゴ 〈古〉 トオスベツ 〈下〉	オンナ
64 30.26	onago 〈多〉	onna
64 30.53	ニョオホ 〈古〉	オンナ
64 31.41	同 上	オナゴ
64 31.85	オンナ オナゴは 奉公人をいう。	
64 34.57	ニョオホ 〈卑〉 ナメシゴ 〈卑〉	オナゴ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は秘密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名		(B 除いた共通語)	(50)
女 001		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6435.03	ニヨオホ (小学生 ^く の ^い 女 ^は ニヨオホ ^ノ コ 4歳 ^ノ コ 初 ^ノ 女 ^は ニワ)	オナコ
6435.68	!ニヨオホ (小学校女 ^は と ^い ニヨオホ ^ノ コ と ^い)	
6436.33	onna (古) onago (新)	
6436.60	オナ !ニヨオホ (ニヨオホ ^ノ コ は少女)	
6438.33	オナ (新)	オナコ
6439.01	スワタ (下)	オナコ
6439.17	hernda (お ^り の ^こ と ^い)	o ^{na} yo
6440.67	オナコ (新) ニヨオホ (古)	
6442.35	オナコ (FB)	ニヨオホ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(51)
女 001			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6443.61	音 オナゴ	オンナ
64.45.11	<!> オナゴ オンナ } <区別なし>	
6445.57	オンナ < 自分の女房は オナゴ。 オナゴ"といはば 自分の女房のことである。 >	
6446.69	オナゴ <音>	オンナ
6447.08	onago -g- ~.?g- menta(卑)女房の意	
6450.45	ニヨホ <音> 子供アヒ ニヨホ"という由。	オナゴ シヨシ
6457.18	オナゴ <古>	オンナ
6457.45	# アマヲヲメ <下>	# オナゴ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	[B 除いた共通語]	
項目名	女 081	[C 除いた特殊語]	(52)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
64 57. 51	me ⁷ ro 〈卑〉 o ⁷ na ⁷ go me 〈卑〉 o ⁷ nagobari ⁷ me 〈卑〉	o ⁷ na ⁷ go
64 58. 08	# オトコ 〈多〉	オトコ
64 66. 36	X-9 〈下〉	オトコ
64 72. 05	on go 〈古〉	onna
65 74. 52	onagoji 〈「オトコシ」とは、女中の意味ではなく、 妻・女人のこと。単数。〉 (「女」一般、また特に「妻」の意に使う と理解できる。)	
	onago (「オトコ」)	
64 74. 83	ネシヨ 〈古・卑〉	オトコ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は前置にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	[B 除いた共通語]	
項目名	138	[C 除いた特殊語]	(53)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
6475.07	オナゴ <普>	オンナ
6476.17	メンダ <メンダ / 70 = テンダバウト。>	オナゴ
6476.93	卑 ネシヨ	オナゴ
6477.02	! メンダ <ウチ=メンダカ マクテケカ。 といは" オナゴ" 女の子が生まれたことおあ" (いんげん ある。)>	
6479.51	menta [卑] 此催"意 bassai は若い女のおんば"	onago
6480.91	オナゴ <稀>	(婦人) ナシ
6482.23	(下) オナゴ (上) オンナ	
6484.43	! ネシヨ <下> ! ナリネシヨ <下> ! ネシヨナリ <下>	オナゴ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	[B 除いた共通語]	
項目名	138	[C 除いた特殊語]	(54)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6484.78	<p> 卑ネシヨ } 卑称 (相手と 99% の意味の 卑クツネシヨ } である。 </p>	オナゴ"
6485.14	[下] ネシヨオ	オナゴ"
6485.30	<p> ! ネシヨオ } 卑 < 男という卑称は 青年に於ては ! クツネシヨ } トク。少年に於てはコトクワ ある。> </p>	オナゴ"
6485.46	オナゴシ<下> ネシヨ<下>	オナゴ"
6486.07	下 スバツ。ネシヨ, オネシヨ	オナゴ"
6486.50	<p> 下! ネシヨヒツリ 下! ネシヨ ネシヨテ オツテ カバチ キナ。 </p>	オナゴ" ウナゴ"

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で的情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(55)
女	681		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6486.73	! ネシヨ <ネシヨマカ ない と 昇めて いう。>	オナゴ
6487.43	<下> メン (メンは 不意こぼれ である。)	同上
6487.66	クソネシヤ F	同上
6488.48	o ^h na ^h gora: <鼻>	o ^h na ^h go
6491.49	onago-basun <下> <の(ら)い)とき使。> (海岸部の大浜部路では basun (F) が使われている。)	onago
6494.21	! メンダ <メンダがイケン一 である。>	オナゴ
6494.55	# ネシヨ <下>	同上
6503.73	mero 此語は種々に変りあり。語の異なる。	onna

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(55)
女 981			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6507.13	ヒク= (単語. 女性に於て 20??! というPFの アマの意)	オンナ
6507.48	<卑> アマ	オンナ
6507.79	<同上>	同上
6508.06	卑 アマ	同上
6509.43	ヒイ <卑> (ヒイは動物の可を 表す可時には 使わない。)	同上
6510.65	オナゴ } 同-と見3. ONAGO の中。(宝貝) オナゴ }	
6512.09	mero <F>	onago

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(57)
女 681			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6512.74	mero (卑)	onāyo
6512.67	mero <海燕 65>	onago
6515.70	onayome (下)	同上
6516.10	<卑> ヒョク <卑> トヒョク <卑> アマ	オンナ
6516.15	<卑> ヒョク <怒りトオヒョクなどにより場合々ある。>	オンナ オナゴ
6517.70	<卑> アマ	同上
6518.30	<卑 幼思> アマ	オンナ
6518.87	<学.共> ショシ	オンナ
6519.43	<卑> アマ <共> ショシ	同上
6520.94	オナゴ <オナゴは一般の女の人の指し言葉>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中でどの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(58)
女	681		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6522.03	オナゴ" オナゴ 80 歳さんでも オナゴ"である。	
6522.93	メロ (卑)	オナゴ"
6524.01	onayo } onayodomo } <見下けた 女の方がある。>	onna
6527.22	ama <卑・希>	onayō
6527.44	onayō } onna } } 画差別 a ³ ma [卑]	
6527.73	onayo <古> <老人に多い。若くは不便な。> ama <下・希> <only には 普通は不利 便な。>	onna
6528.06	ama <卑・希>	onna

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ そのうちの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地域番号	A 普通注記	
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(59)
	女 081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 或した語形とその注)
65 28. 21	ama <下・希>	onna
65 32. 89	オナコ" (やや下品)	オンナ
65 32. 93	オナコ" ・老人はオナコ"の方を尊称と云ふ。 「ア オナコ" シリカルオナア」 若者(20才・23才)男性はオナコ"は愛称 であり、決して尊称には用いないことである。	オンナ
65 33. 36	mero <下>	onayo
65 34. 85	onayo <丁寧な言葉である>	onna
65 35. 93	onna onago <女子は次でオナガ呼ぶ方が変わる bi: → oba → ba: >	
65 36. 68	menta <下>	onago

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号期に差べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 681	(C 除いた特殊語)	(60)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6536.68	menta <下>	onago
6537.06	? onayo <新> ? onna <onayoは新しいことばで、onnaの若さの ことばのように思う> (別の国所の挨拶の中で 被調査者の知らない時に onayoを 観望し得た。) ama <卑・希>	
6538.02	onna <一般に使う> onnayo <古> <年寄りのことば。男と比使う。> ama <下> <怒った時などに使う>	
6538.46	ama <卑>	onna

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は縦書きにする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 681	(C 除いた特殊語)	(61)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
65 40.79	オナゴ オナト <オナゴは古く オナトは新しいが 同じく行われる>	
65 41.27	オナト [オナゴ]	
65 42.32	オナゴ オナト 言語の場合は [g]音がかな あるらしい。	
65 42.58	オナゴ (古)	オナト
65 42.71	onago -gシカ	
65 43.05	オナゴ (下)	オナト
65 45.88	onago <onagoとも言う>	onna

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 681	(C 除いた特殊語)	(62)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6546.15	オナゴ オナゴ ^{シユウ} オナト <オナゴが多い> (オナゴ ^{シユウ} は複数である)	オナト
6546.73	onago <昔の女の方>	onna
6547.09	onnayo <平たい女の方>	onna
6547.24	anna <女>	onna
6547.67	1. onna 2. onago <インフォーマントは1を使う。同地の農家では2を使う人も多い>	
6548.26	onna <一般普通に使う。どちらかといえば、新しい語ではないかと思う。> onayo <古> <老人に多い> onnayo <古、他>	

<n- 区入れの老人もいる>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() (C)は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(63)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
65 49.03	amattso <下> ama <下> } <どちらも区別なく使う>	onna
65 49.60	ama <下>	onna
65 51.52	オナゴ <オナゴといふ人もある>	オナゴ
65 52.90	onayo (「オナゴ」と「オナゴ」と2つのアスペクトの型あり。)	
65 53.22	menta <鼻>	onayo
65 53.47	menta <鼻> <「メタ」の鼻筋は、3/4だけ子供のonayo生れなとさ。「メ→4テケメヤ」「メ→メヤ」という風にも>	
65 53.83	古, 下 onayo <「オナゴ」は古く使ったが今は余り使われない? 使えば下品になり、耳を刺すことになる。>	onna

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は縦密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(64)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6553.99	onago (「オナゴ」)	
6554.88	onago <子供に「い」とさみ mentak いじ>	onago
6557.14	amattfo <卑>X腹をたたく時など以外には あまり使われぬ 下品な語>	onago
6557.77	ama <卑・希><おろこにはあまり使われない>	onna
6558.09	ama amattfo } <卑・希>	onna
6558.10	ama <下>	onna
6558.37	ama <卑> amattfo <卑>	onago

<両方とも記号で使う。 onago より悪い語あり>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は秘密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	(65)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6559.22	a ^h ma 〈鼻〉	on ^h na ^h
6559.46	ama 〈下着〉〈普通ときはあまり使わぬ。〉	onna
6559.67	ama ^h dzaku 〈鼻〉〈怒った時にこれに使われる〉	同上
6560.40	オン ^h ト 〈下〉	オナ ^h コ
6561.49	オン ^h 〈鼻〉	オン ^h ト オナ ^h コ
6563.43	上, 下 onayo onna 〈昔は皆「オナ ^h コ」と言っていたが、段々「オン ^h ト」を使う方になった。「オナ ^h コ」は少し下品なため「オン ^h ト」は普通に使う。〉	
6563.58	onayo onna 〈区別はない〉	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は敬密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名	138	(B 除いた共通語)	
女	081	(C 除いた特殊語)	(66)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6564.33	onayo <とくに、お女にを「XO」という。>	
6564.51	mero <卑> menda <極卑>	onayo
6567.79	ōnāyo <古>	ōna
6568.13	ama <下>	onna
6572.29	menta <卑> <!> (下: 男の卑称として, [onta] <!> を併加した。)	onayo
6573.71	mero <卑>	onayo
6577.13	onna <漁師町の方では ama なのという>	
6577.71 (?)	onna (onayo なのと 9 形がありそうなの 調査のとき聞き取れた。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での階級は地点番号順に基べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
	137 138	(B 除いた共通語)
項目名	女 081	(C 除いた特殊語) (67)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6577.86	onago < 赤ん坊にフヒては 男 jaro 女 ama とい >	
6580.06	メノタ アマエタ アマホ ^ア オス < 女の ^ア マエ いう ことば >	オナゴ
6580.66	メマ ^ア ト ^ア < 下 >	オナゴ
6581.36	アマ ^ア タ < 下 >	同上
6581.52	アマ ^ア シ < 鼻 >	オナゴ
6582.48	mero [鼻] merokuta [鼻]	onago
6582.73	メ ^ア シ ^ア オ < 下 >	オナゴ
6583.41	! mero < 鼻 > ! kusomero < 鼻 >	onago
6583.93	o'nayo < 古 >	o'nna

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (68)
	137 138	
項目名		
女 001		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6584.90	o'nna o'nayo <昔のことば> <small>小まのうは (古) amakūri an'no'no' kusomoro kusobiku. an'no'no'no'no'. 又オトは kusobaba.</small>	
6586.27	amo <小玉の時に使った。怒りの時など今でも使>	onago
6587.42	オナゴ オナ <オナゴの方を多く使う>	
6590.35	アマ <あまのういことば。下品>	オナゴ
6591.57	アマ、オナ <下>	オナゴ
6592.10	オナゴ <多>	
6593.30	a'ma <卑称>	o'nayo
6594.67	オナゴ、オナ オナ <オナゴはオナゴの方を多く用い>	
6595.32	オナゴ <昔はオナゴとも云った。>	オナ
6603.52	ona'yo <おんなのういことば。オナゴの方を多く用い>	o'nna

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(67)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6603.82	ヒク <下>	オンナ
6604.38	ヒク <鼻>	オンナ オンナシ
6604.60	ヒク <下>	オンナ
6606.35	o'nna ¹ (鼻跡は NR)	
6607.03	amattjo <下> a'ma <下>	o'nna ¹
6607.84	-onnaſi (〈おんなははははは〉と云)	
6608.07	a'ma (鼻) a'mattjo (鼻)	o'nna ¹
6608.22	オンナ <近(小)村生地では村口で言ふ。>	
6609.02	a'ma <下>	onna
6609.05	下) アマ	オンナ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()Cは厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
	137	(B 除いた共通語)
項目名	138	(C 除いた特殊語) (7)
女 081		

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6613.07	ヒナ <F> <女の言葉>	オナ
6617.34	NR <♀>	o'anna'
6617.75	オナ (F)アマコ (年長者にだけ)	
6618.46	オナ ♀(♀)アマ	
6618.51	o'anna' <特に女の尊称はない。ただ [warui jatsu] ないという。>	
6619.76	onnago (♀)	onna
6620.20	<♀> アマ	オナ
6621.94	bikuta <♀>	onna
6623.53	onna (女の老若に亘る尊称の総称はない)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名		(B 除いた共通語)	
女 081		(C 除いた特殊語)	(7)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6624.13	āma F ama'tjo: FαF	onna
6624.25	āma 卑	同上
6625.17	āma F	同上
6625.66	onna <女は花若を命めた→卑称は女>	
6626.46	mesu' <卑>	o'nna'
6626.71	-aitsu <卑>	同上
6627.12	-me:ta } 卑称 (F) mero' }	同上
6628.23	-bi:ta <卑>	同上
6628.59	a'ma (卑) <[a'ma]は道夫などか使う>	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(22)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
66 29.24	āma <♀> amattʃo <♀>	onna
66 30.58	mero: <♀>	onna
66 33.33	♀ meFo:	同上
66 34.32	F 同上	onna
66 34.07	āma ♀	onna
66 35.54	同上	同上
66 35.87	āma F amattʃo F, F	同上
66 36.62	āma <♀>	同上
66 38.14	amattʃo <♀>	onna
66 39.43	onnago <♀>	onna

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(73)
女	681		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6640.29	ama ^z aku 〈鼻〉〈けんが ² もしたとき。〉	onna
6640.34	ama 〈F〉〈希〉	同上
6640.76	ama 〈F, 希〉〈怒ったときなど希に使用 こゝろあるたりに。〉	同上
6641.43	āma 〈鼻〉〈年令を問わぬ〉	同上
	amāzaku 〈鼻〉〈年令を問わぬ。最も鼻した いひかた。〉	
6642.33	meto: 鼻	onna
6642.58	meto: F <u>metſa</u> : F (罵言) metsum: F (〃)	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(74)
女 661			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6643.16	ama'tʃo F <u>mentʃa</u> : F	onna
6643.72	♀ <u>mentʃa</u> : ♀ <u>mentu</u> :	onna
6645.37	āma <♀>	onna
6645.62	onna (女子の老若を問わぬ卑称は無い)	
6646.23	āma <♀>	onna
6646.74	同上	同上
6649.28	amatʃo <♀> ongo <最上♀>	同上
6651.32	amanzakū <♀>	同上
6652.06	♀. <u>mentu</u> :	同上
6652.30	āma F	同上

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	(75)
項目名		(C 除いた特殊語)	
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
66 52.77	āma 卑	onna
66 53.30	mentfa:me 卑	同上
66 55.51	āma <卑>	同上
66 55.87	同上	同上
66 56.31	同上	同上
66 57.54	<卑> NR	onna'
66 61.02	amazakui <卑> āma <卑>	onna
66 62.38	āma 卑	同上
66 65.25	āma <卑>	同上
66 97.39	ama <卑称> amakko <卑称>	同上

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(75)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6698.20	ama <尊称> amakko <愛称>	onna
6698.61	ama <いやしな言い方> amakko <愛称>	同上
6700.48	ama <尊>	同上
6701.01	āma (尊)	onna
6701.46	amakko <尊>	onna
6702.21	amako <尊>	同上
6710.02	amattfo <尊>	onna
6710.55	onnago (尊)	同上
6711.95	! amattfo <尊>	同上
6720.23	onnago (尊)	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は秘密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女	(C 除いた特殊語)	(77)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6720.67	onnago (♀)	onna
6721.33	同上	同上
6730.33	onna [amatto] は女の尊称であらう。 年寄りには使わない。	
7218.26	mesira <♀>	wo'nago
7238.70	オナゴ <♀の尊称はオナハチ>	
7239.29	オンナ <町オナゴにオナゴとは決していわない>	
7246.45	onago megra は女童	
7269.48	オナゴ (尊称はオナメンツと言ふ)	
7275.07	オナゴドン 尊称	オナゴ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(78)
女 <small>gal</small>			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
73 03.17	(♀) <i>onāgo</i>	<i>onna</i>
73 03.29	(♀) <i>metso</i> <古>	<i>onago</i>
73 08.33	<i>onagobindare</i> <♀>	<i>onago</i>
73 08.48	<i>onago</i> <よく喋る女などは <i>bindare</i> と云う。 下品な言い方である。>	
73 12.11	<i>mero:</i> (尊称) <i>metso</i> (尊称)	<i>onna</i>
73 13.34	(♀) <i>mero</i>	同上
73 13.68	(♀) <i>mero:</i>	<i>onago</i>
73 20.59	<i>onago</i> (① <i>onago</i> と ② <i>onāgo</i> と 二様の アクセントがあり、用法が異なる。②は親 愛を帯びる。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名		(B 除いた共通語)	(79)
女 681			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7321.93	オナゴ (おし悪くいび)	オナト
7323.17	卑称 mero:	onāgo
7324.24	(卑) mero	onago
7329.57	onago < 女の子が生まれたとき、 <u>bi:ga</u> "mare-ta" と言ったものだ。 > ↑ 平令国/京あり	
7332.97	mentso (卑) 昔の人 悪罵。今人は余りおわらぬ。 メダ なし。	onago
7338.48	onago < 別に卑罵の感しは伴わぬ > と云。	
7339.27	bet:a < F >	onago

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)
	137 138	
項目名		(80)
女 081		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7342.12	metatʃi <悪口の時ほ metatʃi(い)。(女たし。い)>	onago
7342.72	meta <♀> — 牝(い) dama <♀> — 牝馬のこと	onago
7342.76	mero: (悪口)	onago
7345.43	mye'ro <下>	onago
7351.09	meta (♀) <(xʁ:ne 3:11:1)の標に>	onago
7352.61	メ→フ } (下) メ→フ }	オナゴ
7354.23	メロ <♀> フメロ <♀>	オナゴ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名	138	(B 除いた共通語)	
女 081		(C 除いた特殊語)	(81)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7359.78	<希> onago	on ⁿ na
7367.61	mero ⁷ <卑, 下>	onago ⁻
7370.41	オナゴ ⁷ 卑称はメラという。 メラナガラ (女たまりに、女のせに) なとと使う。	
7373.92	<[オナメ][卑]><希>	オナゴ ⁷
7374.75	*メ ⁷ ナゴ } #コメ ⁷ ナゴ } 子 孫は下 #メロ	オナゴ ⁷
7375.71	mero <古, 卑称>	onago

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(82)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7381.97	×9 <卑語>	オナコ
7391.44	同上	同上
7392.45	オナコ <卑>	同上
7401.11	onago <別に侮り気持は含まれていない。 婦人の例でも どの感も受けない>	
7401.60	onago (特に卑しめよう気持は含まれていない)	
7404.56	on'ina no hito <上>	onago
7410.57	onago (<使われたも 使われた婦人例にも 卑感はない>という。)	basu
7412.71	onago <ate wa onago tate ni などのように。 蔑視した気持を含む。>	onna

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (83)
項目名	137 138		
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7415.85	onāgo <女性に軽蔑の意を含む>	onna
7416.34	<古> onago	onna
7420.91	onago <ふつに使う。別に卑称の意はない。>	
7421.62	onago <自分妻のこと。他人に向っていふ時にも onago ga などといふ。上品にいふ時には使わない。>	
7423.77	mentu 卑称	onna
7423.80	onāgo <多>	
7424.60	onāgo <ややおんごい>	on:a
7424.67	nefo:sate <卑称>	onāgo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	137	
項目名		(B 除いた共通語)
女 osi		(C 除いた特殊語) (84)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7425.82	onāgo <多>	
7430.15	onago <1. 女子のことにはいとき、別に卑罵の 気持ちはない。 2. 自分の妻のことを他に向ってい 時にも使う。>	
7431.13	onagoji (特定の個人を指すのではないときは、 単数の場合にも用いし。)	onago
7432.95	neʔso: <なれそいとき。>	ōnago
7433.37	onāgo <多>	
7436.40	nef:o 一般女性の卑称	onāgo
7436.68	onāgo <多> 卑称は見当らぬ。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(85)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7440.69	onago <F>	onna
	<to:nip ni t:o-t:e wa onna to iwarenu ho:ga jokaro:>	
7441.89	onãgo <軽蔑L2>	
7442.39	onãgo <E?> onna	(onãgo を多く使う あつや)
7446.26	onãgo <多> onna <少>	
7460.23	nef:ɔ (軽視L2)	onago
7460.39	nef:ɔ 卑称	onãgo
7461.39	[nef:ɔ]	onãgo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(86)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7471.38	nejo: 卑称	onãgō
7500.24	セリ <卑称> ネシヨ <卑称. 女性のみの使法> オナゴ	
7500.66	オナゴ → <一般に広く使う。> アマ・アマノコ <両方とも卑称でよきから来たことば。>	
7501.14	ハ、タイ <下>	オナゴ
7502.89	neŋjo <古>	onãngō
7502.91	アマ <下>	オナゴ
7503.11	onangoji <「オナゴン」は複数に限る。>	onango
7503.48	onna <老若ともに女のこと>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	137 138	
項目名		(B 除いた共通語)
女 081		(C 除いた特殊語) (89)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
75 10. 18	オナゴ [°] サレ } <卑> アマ [°] タレ アマ [°] チヨ	オナゴ [°]
75 11. 66	アマ <F> → <卑下してミツサもある。自分子で「ウチ」 アマ [°] チヨ <F> アマワ ~」のようは。>	オナゴ [°]
75 11. 93	ネシヨオ <F>	オナゴ [°]
75 12. 43	アマ [°] チヨ <F>	同上
75 13. 15	語 onã~go <古>	onna
75 13. 43	! ネシヨ <F> ! ネシヨ / ヒンヤレ <F>	オナゴ [°]
75 13. 69	ネシヨ <F> アマ [°] チヨ <F>	オナゴ [°]
75 21. 16	アマ [°] チヨ <古>	オナゴ [°]

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名	138	(B 除いた共通語)	
女 081		(C 除いた特殊語)	(85)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7521.79	アマ <下>	オナゴ°
7522.48	アマノコ <古> } <両方とも 古い悪口でなく用いた。今、あまり用いない。> ネシヨウ <古>	オナゴ°
7522.94	オナゴ° (尊称の場合の呼称名なし)	
7523.05	ネシヨ <下>	オンナ
7523.27	! ネシヨオ <下> ! ネシヨ <下> ! アマ <下>	オナゴ°
7523.30	ネシヨウ <古> } <昔は侮蔑の意が込められた。今はある。> アマノコ <古>	オナゴ°
7523.74	nefo (いさか [卑] の?) <年令に因せず。> 子供はら [卑・ヤ] ama	onago

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	137 138	
項目名		(B 除いた共通語)
女 on1		(C 除いた特殊語) (89)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
75 33. 11	ネショウ <下> クリネショウ <下>	オナゴ
75 33. 12	アマ <めづるいことば">	同上
76 59. 53	誘 onnago	
82 48. 18	onago mettsu: (卑称)	onago
83 20. 59	meta <卑称>	同上
83 21. 58	mettsu <卑>	同上
83 22. 68	mera <卑> mettsu <卑>	同上
83 33. 03	onago 雌は metts	
83 33. 79	meta <卑>	onago
83 43. 74	同上	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(90)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
83 46. 11	meta <♀>	onago
83 51. 65	meta, metantsu <♀>	同上
83 52. 29	onameta <♀>	同上
83 53. 68	meta <♀符>	同上
83 73. 43	onago (K) onagokito 言ひ: 同じく onna と 言ひと 話してゐる。	
83 93. 69	metahatsi <♀>	onāgo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
	137	ページ
項目名	138	(B 除いた共通語)
女 081		(C 除いた特殊語) (/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3705.42	onna <新>	onayō <古><卑称なし>
4578.33	onna <新>	njo:bo
4618.87	onna <上>	onayo
4637.68	onna (新)	onayo (古 現在も用いる)
4638.43	onna <共>	onayo
4647.69	onna <新>	onayo 「外にありまじか」の 向い反対 <古の語で今もよく用い>
4648.59	onna <新>	onayo <希><古の語用い、 現代も使われる。稀なり。>
4652.79	onna <共>	onna no mon <古一現>…(水環境 で用い、2000 onayo とよく用い。onna 共通語の場面にも 用いる。)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(2)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4666.17	onna <新>	onago... (「外にありせんか」 の向に反する反応) <古い言い方 のため、今も onna より多く 用いる。> <onago no ko などとも用いる>
4672.19	onna <希>	onna no mon... <家庭内 で多く用いる。> onago... (「外にきい方はあり せんか」に反する反応。) <相対的に多く用いる。部落内と 被調査者が用いる。> <昔人作 mejo: no mon と云った村である。>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は秘密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	(3)
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4675.45	onna <新>	onago <古-現> 「外に字い方はありせんか」に対する答 (これは古から用い、今も onna より多く用いと云ふ。)
4675.62	onna <新><上>	onago <昔から用いては> bate <下> } (卑称である) ama <下> }
4685.10	onna <新>	onago <これより多く用いる>
4714.68	onna <新>	ōnago
4716.20	onna <年頃の女以上の年令>	<子供の場合は onako であり これは女の卑称としても使われる> onayonogito <英><上>

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () () は秘密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(4)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4726.80	onna <新>	onayo
5462.29	オンナ <共>	ニヨオハ
5463.12	同上<新>	同上
5463.73	同上	オナゴ ニヨオハ
5517.90	onna <新>	mero
5537.99	同上	同上
5538.90	同上	同上
5556.35	onna <あ;た;ま;は;時>	同上
5568.57	<英> オンナ	<鼻> ヒ <鼻> ヒラフケ <鼻は自分から出るよ ニヨホ 鼻, ヒラフケ 鼻は時>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(5)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5568.92	<英> オンナ	ニヨウホオ <総称> <卑> ヒラツケ <幼思.子媛の おして>
5569.02	<英> オンナ	ニヨウホ (総称) ニヨウホソコ (女の子)
5574.42	onna <若>	me:ro
5588.02	<英> オンナ	<卑> ヒイ <卑> ヒンタケ <怒っていう> ムスメ <嫁入りの女> ニヨホホ <女性の総称の別>
5703.70	onna <新>	onago

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	(6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5723.36	onna <新>	onajo
5792.02	onna <共通格として>	!a'ma <軽蔑の意なし>
6395.61	onna <新>	onago <古>
6407.43	オンナ <英>	オナゴ
6408.88	オンナ <上 英希>	オナゴ
6409.00	オンナ <新 英>	同上
6409.72	オンナ <新>	オナゴ <古>
6415.80	onna <上>	onago <多>
6415.83	onna <上>	njo:ba <共同作業などでニョーハツト 手伝って貰う などの意>

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	(7)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6416.31	onna <新・上・稀>	onago <古>
6417.14	同上	onago
6418.13	オンナ <英・稀>	オナゴ
6429.61	オンナ <英・希>	オナゴ
6439.01	オンナ <英・新>	オナゴ スハダ<下>
6439.77	オンナ <新>	オナゴ
6448.61	オンナ <新>	#オナゴ
6449.19	オンナ <新・英>	オナゴ
6453.59	上品 オンナ	オナゴ
6457.45	#オンナ <上・英・新>	#アゴ(ア)ゴ<下> #オナゴ

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	(8)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6458.40	オンナ <新>	オナコ
6458.91	オンナ <新・希・共>	オナコ
6459.87	オンナ <新・希>	同上
6505.58	<共> オンナ	同上
6510.65	オンナ <新>	オナコ } 同一と見る。 オナコ } ONAGOの中。(全員)
6520.94	オンナ <妻をさしてだけ用いる>	オナコ" <一般おな人を指して言う>
6522.37	オンナ <新>	オナコ"
6526.45	<新> オンナ	オナコ
6527.44	on'na [共]	on'na } 無差別 on'na } a'ma [男]

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 681	(C 除いた特殊語)	(9)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6529.15	<共> オンナ	オナコ°
6530.23	オンナ <エ>	オナコ°
6530.58	オンナ <共>	オナコ°
6531.53	同上	同上
6533.31	オンナ (エ)	オナコ°
6537.21	onna <新>	onayo
6540.52	オンナ <共・希>	オナコ°
6556.60	オンナ <共>	オナコ°
6557.36	onna <新>	onayo
6557.54	onna <共>	onayo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(10)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6581.52	オンナ <英>	オナゴ アマケル <卑>
6582.12	同上	オナゴ
6582.73	同上	オナゴ ネシヨオ <下>
6590.87	同上	オナゴ
6592.10	同上	オナゴ <3>
7329.57	新 onna	onago <女子の生れたこと。> bi:ga mmare-ta <右> ↑ と云、たもた。> 年令関係あり
7341.42	オンナ <新・上>	オナゴ onago

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(11)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7349.91	<新> o ⁿ na	onago
7401.60	o ⁿ na <上>	onago (特定の字(おご)の 支那は含まれていないわ。)
7402.47	onna <新>	onago
7403.16	onna <上>	同上
7423.80	on:a <上, 上>	onāgo <多>
7425.82	on:a <英>	onāgo <多>
7431.13	<新> o ⁿ na	onago
:	:	onagoji (特定の個人を指す の2つないときは、単数の 場合にもいふ(い。))

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	(12)
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7433.37	on:a <英>	onãgo <多>
7436.68	onna <少>	onãgo <多> 字種は見当らぬ。
7441.89	onna <英>	onãgo <やや軽蔑して>
7442.75	on:a <英>	onãgo
7502.89	onna <新>	nefo <古> onãgo
7513.69	オン+ <英>	オ+ゴ ネョ<下> ア+ゴ <下>
7522.48	同 上	アマノ <古> (同) 同 同 同 同 ネシヨ<古> (用いた。今あり) (用いぬ。)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(13)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7523.30	オナ <英>	オナ<古> } <昔は海菜の意 アマノ<古> } かなからた。 今はある。>
9310.27	Onina <新>	onāyō
9313.55	metja <阜>	onāgo

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
	137 138	(B 除いた共通語)
項目名	女 061	(C 除いた特殊語) (/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
08 40. 33	mero 〈若い 18歳 22~23の頃〈5歳まで〉に言ふ〉 〈鼻〉	mekkaï 〈古〉〈鼻〉 ōna
08 73. 94	mero 〈鼻〉 mekkaï 〈鼻〉	ōna
	} 〈13~14才まで〉に言う〉	
08 94. 61	Xena 〈正確に5歳までで死す時〉	ōna ōnayo
08 96. 22	[メカイ] [古] 及びは 男の子の 女の子に言ふ用 [メカイ]。14~15才 あり 5歳まで。或人に好むは のふに 用いなければある。	オン (2) × 2 語彙の意味が ユーモアの意味 かと 思われ といふ位と見え。
17 42. 24	メカ 女の子に好む鼻科	メカ
18 16. 52	〈女の子には 悪口として メカいと 言ふ〉	オン

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	[B 除いた共通語]	
項目名	138	[C 除いた特殊語]	(2)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1848.24	mekikai <女子供に對して。今日一才 去る年> <年>	me'ro <年> on'na'
1854.24	mekikai <女子に>	on'na'
1862.48	メロイ <下> <小学生<小さい頃の女子に對して。>	オンナ
1867.15	下 メロイ 女子に取替る女子に取替ることは。	オンナ 下メ
1893.10	<越中衆か mero とうがを聞く>	on'na
1942.03	<子供か 女子供を mekkai とうがを 多くする。 自分には使わない。子供か 大人か どの時かには使わ ない。>	onajo <子供頃 使った実母に> on'na
2720.75	メロイ 女子に取替る年輪	オナコ'
2732.39	メロイ 去る年輪の年輪	オナコ'...年輪 メロイ

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(3)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
27 95.01	mekke 若い女の呼称	onajo
36 99.25	zabeko (女の子の呼称)	zabc (女の子の呼称) onajo
37 14.74	<年> bitta <若い女へ> <年> appatare <中年の女へ>	onajō
37 24.96	アネコ <青女> アッパコ <中女> メラサアト <老女> ハンバ <老女>	オアコ
37 33.18	gagi (幼者の呼称)	onajo
37 33.22	kūsare bitta (年) 子供に。 kūsare appa (年) 子供に。	onājō

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(4)
女 001			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3744.18	ビョウ (女児 鼻) カキ (同上)	オナゴ
3757.09	bitta <若い娘に好まれる>	onāgo
3765.74	アカビキ (女児)	オナゴ
3770.62	dzānbe (鼻, 若い)	onago
3780.65	(鼻) dzanbe (年下の女)	onago
3781.86	(鼻) onānogagi (年下の女に好まれる) 他について答なし	onāgo
3783.11	オラス (女中)	オナゴ
4619.29	battsui <女児の鼻に好まれる> (アロ-ビキ)	onago

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(5-)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4653.02	me ⁷ na <おんなのここと>	menare <夏 ¹⁰ のことは> ne ⁷ so ⁷ :
4663.49	<neso: は 女の子. 若い女さう>	onā ⁽⁷⁾ o
4677.65	(babzi (batʃi) は「女の子」の意味で. 幼子を 叱る時などに用いる下品なこぼれ.)	onna
4744.10	onayo <穉> <主に老人の女を指すか?>	onna
4782.96	mero: <下> <若いものにう>	onna
4791.39	mero: <いやしめさう. 年下に対して> baba <いやしめさう. 年寄りに対して>	onna
4791.61	mero: (若いものにさうする単語)	onayo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(6)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4792.80	mero: <中年以下に用いる卑称> baba <老年に用いる卑称>	onayo
5462.29	オナ	
5559.51	<卑> xōo <xōoは年々いっていき人々、オナは <卑> オナヤ は子に小さい子に 用いられ 卑(め)たことは>	ニョオホ
5566.51	ama <女児>	mero
5568.22	オナ (娘) オナゴシユウ (娘たち)	オナト ニョオホシユウ (女性青年・軍) R5
5568.57	<卑> ヒ <卑> オナヤ <女、持の自の娘にヒを罵って、オナヤは>	ニョオホ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(7)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5568.92	<卑> ヒラツケ -- <幼児・子供にして>	ニョウホオ <総称> <女> オンナ
5569.02	ニョウホ・ノコ (女子)	ニョウホ (総称) <女> オンナ
5569.36	<幼> ヒイ	オンナ
5578.27	ヒイ <幼卑> ヒレツ <幼卑> ヒラツケ <幼・卑>	オンナ
5579.79	<幼> ヒイ	ニョホ・シツク (女性連の意) オンナ
5588.02	ムズ <嫁入り前の女子>	<女> オンナ <卑> ヒイ <卑> ヒレツ <総称> ニョホ <女性の総称)>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	女 081	(C 除いた特殊語)	(8)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5588.78	エイ <幼・卑> エンダ <幼・卑> トエンダ <幼・卑>	オンナ
5591.91	オナコ (若い娘を指して)	オンナ (総称)
5597.78	<卑> エイ <卑> エイノコ } <女の子をさすことは、大人の女をさしては普通使わない。> (エイという語は他の動物の乳をさすことには使えない。)	オナコ
5599.41	エイ <幼・卑> エンダ <幼・卑> <エイは女性 エンダの方が更に卑しいことば>	オンナ
5614.62	onna (若い女性のみ、中年の女性までを総称して。又、複数に用いる。)	onna

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137		
項目名	138	[B 除いた共通語]	
女 081		[C 除いた特殊語]	(9)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5620.16	onago <女中に対して用>	onna mero<下>
5646.71	オンナシ <結婚後>	オンナ アマ<下>
5671.36	bittjo <女子、軽い尊称>	onna
5687.32	アマ <尊> 但し中年迄の女性	オンナ
5652.94	(尊) baba: <老人に用>	onna
5780.11	ama 自分の子供について用	同上
5791.68	amakko <尊・赤い坊の子供をたき>	同上
5792.18	ama <子供。少なくなった。ンカ時代使>	同上
6349.09	njo:bo: <自分の妻に。>	onago <下品 又は普通> onna (一般にヤア上品と 思われている。)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(10)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6401.89	=ヨオハコ <子> (女児を主とする場合 女房子?)	
6415.83	biku <子供に対する夏口に言う>	njo:ba <共同作業などで=ヨハコに手伝って貰うなどとき>
6418.13	ヒク=ゴ <幼女・主に出生時>	オハコ
6418.75	ヒク <希> <出生した頃 ヒクと呼ぶ>	オハコ
6419.25	ヒク <下・子>	オハコ スハク<下>
6435.03	ムスメ <年い30歳>	オハコ =ヨオハコ (小学生ぐらいの女は {=ヨオハコ {ムスメノコ 幼女は ヒク.)
6439.01	ヒク= <子>	スハク<下> オハコ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(11)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6507.13	エイ <子供に対して使うこと>	ヒクニ (単語, 女中生にアツシ ニアマ! というアツ アツ意。)
		オンナ
6507.48	<卑> ヒク ⁴ ₃ <子供に対する卑語>	<卑> アマ オンナ
6507.72	<卑> アマ <卑> ヒク ⁴ ₃ } <これらも女の子に対して。>	オナゴ
6508.06	<卑> ヒイ <幼い女子に対する卑語。>	オンナ 卑アマ
6509.91	<卑> コビ <小正の女子を呼び方に言う場合>	オンナ
	コビ ←→ コホ (女) (男)	
6518.15	アンネ <アンネは姉を呼ぶ子供の言葉。>	オンナ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	(B 除いた共通語)	
項目名	138	(C 除いた特殊語)	(12)
女 081			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 除いた語形とその注)]
6518.87	<鼻>アア (鼻語であるが、老婆に対しては使用しない) (この語は 080 の ホオス よりも 年令的 に 広く 用いられる。)	オンナ <学・英> じょし
6517.67	<幼・鼻> アア	オンナ
6539.78	ama <鼻> <女子を比喩する場合などで 大人に対しては 使われぬと思う>	onna
6540.16	henda 女子の [鼻][古]	onayo
6546.73	ama [子供に用いず]	onna onago <昔の言い方>
6547.79	bi:ta } bi:ta kyta } 子供同志の悪口の場合	onna

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137	[B 除いた共通語]	
項目名	138	[C 除いた特殊語]	(13)
女	081		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6571. 68	アマ <お母さん>	オトコ
6606. 38	gaki <赤い坊の嫁位まで皆 [gaki]と云う>	onna
6625. 17	ama'ko: F — お母さんに ama'to: F — こどもに bamba: — 老女に	onna ama
6626. 30	ama'kakko <子供に対しての悪口> bakabamba <大人に対しての悪口>	onna
6632. 88	mero: 母 老女には使わないと云う	onna
6641. 43	oba: <年寄り> bamba: <母> <年寄り>	onna ama <母> <年寄りには使わない。> amazaku <母> <年寄りには使わない。>

最も卑んだいふ方。>

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	137 138	(B 除いた共通語)	
項目名	文 981	(C 除いた特殊語)	(14)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
66 41. 82	obá:sara <年寄り>	onna
66 43. 16	meFo: F, 子	ama'tfo F mentfa: F onna
66 52. 30	amanzakui F, 子	onna āma F
66 62. 01	amanzakui 老女にはいわない。	onna
66 97. 59	ama <母F女> amakko <小F女子>	同上
73 54. 23	オナン <若い女性まいう>	アノメロ } <鼻> オナジ
75 00. 66	ヒリ <年少女に用る。>	オナジ → <股に広く使う。>
		アノメロ } <両方とも鼻指す。よその またこは。>

